

2019 年度 山岳指導員および山岳上級指導員 専門科目 検定申請書

2019 年度用

ふ り が な 氏 名	性 別	生年月日	検定種類 (どちらかに○)
			山岳指導員 山岳上級指導員
住 所 〒			
携帯番号・		メールアドレス	
所属団体・長野県山岳協会等における略歴			
長野県山岳協会行事・会議等への参加状況			

所属団体代表者 の推薦文	代表者名
---------------------	------

* 参考資料の内容をご確認ください。

* 申し込みは、5月6日（月）までに

「雪上技術交流会 in 針ノ木」の申し込みと一緒に送付ください。

メールアドレス shidou.soumu@gmail.com

* 5月25日（土）26日（日）に実施される検定会の詳細につきましては、

検定申請者に連絡します。

参考資料

* 受検申し込みの際は、下記条件を満たすこと

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会指導者認定規約（山岳）

（総則）

第1条 公益財団法人日本スポーツ協会・社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会の指導者の認

定と受検資格は、本規約による。（以下公益財団法人日本スポーツ協会をJ S P O、社団法人日

本山岳・スポーツクライミング協会を日山協という）

（公認山岳指導員の認定と受検資格）

第2条 公認山岳指導員（以下公認山岳指導員を指導員という）の認定。

2 指導員は、日本スポーツ協会会長および日本山岳・スポーツクライミング協会会長が認定する。

3 日本スポーツ協会担当の所定の共通科目（1）および日本山岳・スポーツクライミング協会担当の

所定の 指導員専門科目を修了し合格したもの。

4 指導員を受検するものは、次の条件を満たしたものでなければならない。

（1）年齢は、満20歳以上のもの（受検年度の4月1日現在）

（2）日本スポーツ協会の所定の共通科目（1）を修了、あるいは修了予定のもの

（3）無雪期の登山経験が5年以上あること

- (4) 1 1月から5月までの雪山登山経験が3年以上あること
- (5) 所属山岳会においてリーダーの実績が3年以上あること
- (6) 指導的立場にあり、知徳円満にして指導者として活動の意志があるもの
- (7) 都道府県山岳連盟（協会）（以下都道府県山岳連盟（協会）を岳連（協会）という）に所属し、
同連盟（協会）が認めるもの

（公認山岳上級指導員の認定と受検資格）

第3条 公認山岳上級指導員（以下公認山岳上級指導員を上級指導員という）の認定。

- 2 上級指導員は、日本スポーツ協会会長および日本山岳・スポーツクライミング協会会長が認定する。
- 3 日本スポーツ協会担当の所定の共通科目（Ⅰ・Ⅱ）および日本山岳・スポーツクライミング協会担当の所定の
上級指導員専門科目を修了し合格したもの。
- 4 上級指導員を受検するものは、次の条件を満たしたものでなければならない。
 - (1) 年齢は、満25歳以上のもの（受検年度の4月1日現在）
 - (2) 日本スポーツ協会の所定の共通科目（Ⅰ・Ⅱ）を修了、あるいは修了予定のもの
 - (3) 無雪期の登山経験が5年以上あること
 - (4) 12月から3月までの3000m以上の積雪期登山経験が3年以上あること
 - (5) 無雪期に4級以上の岩場をリードできること
 - (6) 所属山岳会においてリーダーの実績が3年以上あること
 - (7) 指導的立場にあり、知徳円満にして指導者として活動の意志があるもの
 - (8) 岳連（協会）に所属し、同連盟（協会）が認めるもの
 - (9) 指導能力が全国レベルに達したものと岳連（協会）会長が認めたもの

以上